



北海道大学シンポジウム

「原子力発電所の震災対策と保全学から見た危機管理の在り方」

～保全学会における津波対策評価とストレステスト～

1. 開催日：平成 23 年 8 月 9 日（火）
2. 会 場：北海道大学工学部オープンホール（B21）（正面玄関入って左側階段 2 階）
札幌市北区北 1 3 条西 8 丁目
3. 主 催：日本保全学会、共催：北海道大学大学院工学研究院（一般教員・学生聴講無料）
日本原子力学会北海道支部、日本機械学会北海道支部（共催予定）
4. 参加費：10,000 円（参加申込み：下記の保全学会事務局まで参加希望をご連絡下さい）
5. プログラム [URL:http://www.jsm.or.jp/jsm/](http://www.jsm.or.jp/jsm/)

9:00～ 9:05 開会の挨拶 奈良林実行委員長（北海道大学）
9:05～ 9:55 [基調講演] 原子力発電所の震災対応の評価と今後の在り方 石川迪夫
(原子力技術者協会最高顧問)

第一部：福島原発事故について

10:00～10:40 東電福島事故の分析と教訓 奈良林 直（北海道大学）
10:40～11:20 今回の事故の遠因はどこにあるか 宮野 廣（法政大学）
11:20～12:00 欧米のアクシデントマネジメント 伊藤 邦雄（日本エヌ・ユー・エス）
<12:00～13:00 昼食 >

第二部：保全学会における津波対策評価ガイドラインとストレステスト

(1)事業者の津波対策

13:00～13:40 事業者の津波対策（PWR） 太細 克己（北海道電力）
13:40～14:20 事業者の津波対策（BWR） 飯田 晋（東北電力）

(2)保全学会における評価とストレステスト

14:20～15:00 保全学会における評価ガイドラインとストレステスト 橋爪 秀利（東北大学）
15:00～15:15 討 論
<15:15～15:30 休 憩 >

第三部：パネル討論会 『津波対策の評価、運転再開条件の評価』

15:30～17:30 パネル討論 司会 奈良林 直（北海道大学）
パネリスト 杉山憲一郎（北海道大学工学研究院）
金子 勇（北海道大学文学研究科）
金崎 高子（日本エネルギー環境教育学会）
青木 孝行（日本保全学会）

※最初にパネリスト各位より 10 分のミニ講演をいただき、その後 60 分の討論を行います

17:30～18:00 質疑応答
18:00～18:10 総括と閉会の挨拶 山口篤憲（発電技検）

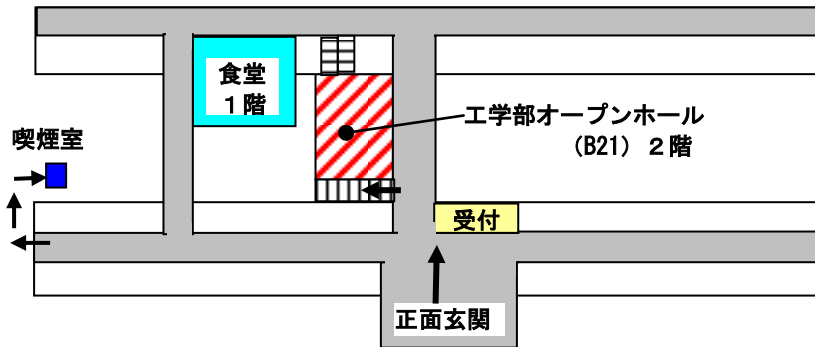
懇親会（参加申込み：保全学会事務局までご連絡下さい）

18:20～19:30 於レストラン・エンレウソウ（会費 4,000 円）

参加申込み先：保全学会事務局 e-mail:secretariat@jsm.or.jp, TEL:03-5814-5430

氏名、ご所属、ご連絡先、懇親会出席の有無を 8 月 5 日 17:00 までにお知らせください

【工学部オープンホールと食堂の地図】



※札幌駅北口よりタクシーで約7分（運転手に「北大工学部。13条門から入って正面玄関」と伝えて下さい。地下鉄南北線北12条駅から歩いて約10分です。

【北大キャンスマップ】新千歳空港からJR札幌駅まで快速エアポートで約40分

